

# ほがらかニュース6月号

## 「ほがらか定例学習会」基礎講座

日 時：2011年6月19日（日曜日） 13:30～15:30

会 場：新城文化会館 大会議室 \*今回は、会場が新城になっています。

時間・場所	テーマ	定員
13:30 ↓ 15:30	<p><b>演題：発達障害の基礎知識あれこれ</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>今後の発達障害概念の変化。</li><li>上手に接する 幼少期から思春期まで</li><li>自閉症に関する最近の話題</li></ul> <p><b>講師：山田 敦朗 先生</b></p> <p>名古屋市立大学大学院医学研究科 精神・認知・行動医学分野 病院講師</p> <p><b>当日内容：講師からのメッセージ</b></p> <p>会員の皆様ご無沙汰しております。ほがらかも皆様のご活躍によりますますご発展のこととお慶び申し上げます。豊橋こども発達センターも誕生して1年がたち、今後の発展にますます期待します。</p> <p>さて発達障害が周知されてきた今でもまだ取り巻く環境がなかなか良くならない気がするという声も耳にします。これはどうしてでしょうか。</p> <p>医師という立場で、よく出会うのは発達障害の診断を求められることです。診断を受けることは重要なことです。しかし単なるレッテル貼りに終わるのであれば、百害あって一利なしです。個々のケースで「この子は発達障害なのかどうなのか」という質問を受けることがよくあります。一人の子どもを見る時、単に「発達障害のある子ども」として見てしまうことは、「発達障害でない子ども」と縛りきをしてしまうことにつながります。皆様ご存知のように発達障害は白黒つけられないケースも多く、いわゆるグレーゾーンが存在し、多くの子はこのグレーゾーンに位置します。こうしたグレーゾーンに当たる子どもに安易に診断をつけることで、普通の子とは違うというように捉えられてしまうことには何か違和感を覚えます。</p> <p>最初の疑問に戻ります。発達障害が周知されてきたことは良いことなのでしょうが、同時に上述したような問題は増えてきています。こういう傾向が進むと極端な場合、問題のある子ども→発達障害ととらえられるようなことにもなりかねません。そうなればよい環境はのぞめなくなります。また、別の問題もあります。グレーゾーンの子どもがどんどん診断がついてくると、当然発達障害の子どもが増えてきます。援助者も近年増えています。しかし診断が増えるスピードには追いついていないのが現状です。そのため支える環境は厳しいままになっているかもしれません。</p> <p>話が長くなってしまいました。当日は基礎講座ですので、基本的な知識などをふまえた話をさせていただく予定です。今までに話してきたことの復習となります。最初に広汎性発達障害、軽度発達障害の疾患概念について復習しておきたいと思います。この概念も今後診断基準の変更に伴い大きく変わってくるようです。現時点で分かっている今後の概念の変化の方向性について触れたいと思います。</p> <p>またいつも話のように、接していく中で困ることについてお話ししたいと思います。こうした問題は障害のタイプ、年齢、発達段階に応じて使い分ける必要があります。全て網羅することはできませんが、対応のエッセンスを紹介します。この他、自閉症における最近の治療や当大学が行っている研究についても簡単に触れたいと思います。時間の都合上多くを盛り込めないので、当日の状況で省略してしまう部分が出てくるかもしれませんのでご容赦下さい。では当日皆様にお会いできるのを楽しみにしています。</p>	150名

平成23年4月吉日

関係者様

発達障害の子どもと家族を支援する会  
NPO法人「ほがらか」代表 池田信子

### 講演会（定例学習会）のお知らせ

「ほがらか」6月の学習会案内を送付させていただきます。今回は、豊橋市民病院で児童精神科医として長くお勤めになられ、現在は、名古屋市立大学大学院医学研究科 精神・認知・行動医学分野病院講師である山田敦朗先生をお招きし、「発達障害の基礎知識あれこれ」と題し、「今後の発達障害概念の変化」「自閉症に関する最近の話題」などについて、ご講演頂きます。発達障害が周知されてきた現在も取り巻く環境がなかなか良くならない気がするという声も耳にします。今後の特別支援教育を考える良い機会になります。貴重な機会でございますので、関係する方々にお知らせいただき、多数のご参加をお待ち申し上げます。

記

日 時：平成23年6月19日（日）13：30～15：30  
場 所：新城文化会館 大会議室（新城市字下川1番地1 TEL0536-23-2122）

#### 演題：発達障害の基礎知識あれこれ

- ・今後の発達障害概念の変化
- ・上手に接する、幼少期から思春期まで
- ・自閉症に関する最近の話題

#### 講師：山田 敦朗 先生

名古屋市立大学大学院医学研究科 精神・認知・行動医学分野 病院講師

受講対象者：ほがらか会員、一般会員（教員、保育士、施設職員、保護者など）

参加定員：150名（申し込み順） 参 加 費：1000円（ほがらか会員は無料）

申し込み：6月1日～10日 0時まで（申込み切り）

\*託児（会員限定）は7日目切（事務局にサポートブック必着のこと）

申し込み、問い合わせ：「ほがらか」事務局（池田）

441-8151 豊橋市曙町松並210-1 FAX 0532-47-7981

<http://hogaraka.org> 「ほがらか」専用申込フォーム（一般会員も利用可）

- \* 講座において、録音・録画はご遠慮下さい。
- \* お子様の同伴はご遠慮ください。（家族会員の方は託児をご利用ください）
- \* 駐車場が限られています。公共交通機関でお越しください。
- \* 会場は場所をお借りしているだけです。会場への問い合わせはご遠慮ください。
- \* 受講申込み受付済のお知らせは致しておりません。受講できない場合のみご連絡いたします。
- \* 自然災害などの場合の開催について2時間前の情報（警報）を目処に実施を決め、掲示板に掲載致します。

切り取り

FAX 020-4624-5402 もしくは、0532-47-7981

参加者氏名	連絡先（電話番号）	所属（○をつけてください） 保護者・教育関係者・その他（ ）
		保護者・教育関係者・その他（ ）
		保護者・教育関係者・その他（ ）